

6万会員のための情報紙

県P情報

やまなし

No.124

2015(平成27)年
10月1日

Facebook



●発行/山梨県PTA協議会 会長 三井久美子 〒400-0031 甲府市丸の内三丁目33-7 TEL.055-228-1342
●編集/山梨県PTA協議会情報委員会 ●印刷/株式会社GRANT

題字 渡辺 慈仁(PTA元全県副会長)

つながろう

～子どもの健やかな成長を願い～



平成27年度
山梨県PTA協議会
会長 三井 久美子

子どもたちは、日常生活の家庭・地域・学校・社会との関わりの中からいろいろな影響を受けて身体全体で私たちに現象として表してくれます。

私たちは、大人になっていつの間にか忘れてしまった子どもの‘困り感’を思い出しながら、何を気づきどのように寄り添ってあげたらいいのかを考え、子どもに必要な支援をしていきます。

しかし、小1・中1ギャップやいじめ・不登校、ネットモラル問題、防災・安全教育に至るまで、子どもたちを取り巻く環境は複雑に絡まってきており、すぐに解決できないことがたくさんでてくるようになってきました。

このような問題の解決には、私たち大人が社会全体で『つながり』、心ひとつに取り組んでいかなければなりません。PTAの果たす役割も大きくなってまいりました。

山梨県PTA協議会では、子どもに関わる私たち自身が、大人としての権利や義務をはき違えることなく、その役割を再認識するためのPTA活動を推進しております。

PTA活動をとおして見られる私たち大人の活力ある生きる姿が、子どもたちの明日への希望と勇気となり「生きる力」につながりますよう、今後とも、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

第3回山梨県PTA大会

テーマ つながろう～子どもと学校・家庭・社会をつなぐ～

- 日時 11月28日(土) 午後1時～3時30分
- 会場 かいてらす(山梨県地場産業センター)
- 内容 講演・パネルディスカッション
講師 加賀美尤祥氏(県立大学特任教授)

単P会長予定者研修会

～年間計画が次のとおり変更になりました。～

- 日時 平成28年3月5日(土)が3月12日(土)に変更
午前9時30分～12時
- 会場 かいてらす(山梨県地場産業センター)
- 講師 福島三千代氏(山梨県の話し方教室代表)

日本PTA国内研修事業
参加者募集

全国の中学生が宿泊活動で交流し友情を深めるとともに、研修を通じて多様な文化、平和について理解を深める。

- 期間 平成28年3月26日(土)～30日(水)
- 場所 沖縄県渡嘉敷島
- 対象者 中学2年生各県男女1名
- 参加費 5.5万円/一人(個人負担)
- 〆切 11月20日(金)
- 【問合せ】 詳しい内容を知りたい方は県PTA事務局に。

甲府市立北中学校PTAに栄冠 ～広報紙コンクール～ 5月16日 甲府市南部市民センター

審査の結果、次のPTA広報紙が選ばれました。受賞校は県P大会にて表彰いたします。

「北陽樹」は2ページ特集で「SNSって知ってますか」と親子で考えてもらう企画を展開。SNSの内容や利用状況などを項目別に並べ、「家族みんなでルール決め」の啓発を盛り込んだ企画・写真記事の見やすいレイアウト等が評価されました。

(審査委員長 山梨日新聞社 読者センター長 小宮山良一氏評)

- 【最優秀】 甲府市立北中学校PTA 「北陽樹」
- 【優秀賞】 甲府市立南西中学校PTA 「いちょう」
小菅村立小菅小学校PTA 「源流」
- 【奨励賞】 富士川町立増穂小学校PTA 「増穂小PTA会報」
北杜市立高根北小学校PTA 「もみじ」



最優秀賞に輝いた
甲府市立北中学校PTA「北陽樹」(写真左)

平成27年度 定期総会開催

～平成27年6月6日(土) 桃源文化会館～

後藤斎知事をはじめ多数の来賓をお迎えし開催されました。

事業・決算の承認及び少子化による会費収入源に伴う会費の値上げ承認後、三井久美子新会長が選任され、活動方針・予算が可決されました。議事終了後、NPO法人フードバンク山梨の米山けい子理事長から講話をいただきました。



米山けい子理事長



平成27年度 事業計画

〔スローガン〕

“つながろう”～子どもたちの健やかな成長を願って～

〔活動方針〕

- 1 子どもたちの健やかな成長を願い、親や家庭の役割を再認識する場としてのPTA活動を推進する。
- 2 会員相互の結びつきを強め、資質向上を図り、諸課題に対応できるPTA活動を推進する。
- 3 学校・家庭・地域社会の連携強化に努め、各単位PTAを支援する活動を推進する。
- 4 日本PTA全国協議会(HP)、関東ブロックPTA協議会(関ブロ)、県・郡市・単位PTA(単P)、及び教育諸団体と連携し、教育条件整備を推進する。

〔具体的活動〕

- 1 山梨県PTA協議会の運営(総会・理事会・諸会議及び委員会)
- 2 調査研究・情報収集・教育相談事業
- 3 学校・家庭・地域社会教育に関する研修会や講演会活動
- 4 PTA活動(社会教育)に関する表彰事業
- 5 学校・家庭・地域教育・安全教育に関する広報・啓発活動
- 6 教育・行政・日本PTA等教育関係機関との連携施策提言事業

平成27年度 県P常任理事・監事役員

【会長】 三井久美子 御坂中P

【親子安全会会長】 進邦徹夫 上野原西中P
【扶助会会長】

【副会長】

甲 府(石原初江 玉諸小P) 中巨(南ア) 前田友也 豊小P
 峡東(笛吹) (三井久美子 御坂中P) 峡南 望月 壮 睦合小P
 峡北(韮崎) 川俣健二 甘利小P 南都留(都留) 山本美正 東桂中P
 北都留(大月) 小林且宣 初狩小P 校長会 小林誠一 山梨南中T
 全県代表 磯村賢一 牧丘第一小P 母親代表 石原初江 玉諸小P

【常任理事】

中巨(東部) 望月慶介 常永小P 峡東(甲州) 山下政仁 塩山南小P
 峡東(山梨) 鶴田一路 八幡小P 峡北(北社) 今井久志 泉中P
 南都留(吉田) 土屋 泉 富士見台中P 南都留(南都留) 三浦和朝 西浜中P
 北都留(北都留) 上森貴文 高田小P
 総務委員長 内田 晃 韮崎小P 情報委員長 佐野 誠 上条中P
 企画委員長 小林且宣 初狩小P 母親委員長 中島智子 伊勢小P
 安全会扶助会委員長 福嶋尚美 初狩小T

【監事】

教職員代表 依田宏記 河口湖北中T 保護者代表 佐藤理絵子 小淵沢小P
 保護者代表 渡邊 徹 下吉田中P

※その他の理事役員はHPでご覧ください

第63回日本PTA全国研究大会 札幌大会

8月21日(金)～22日(土)

『ひろがれ 子の未来!つなごれ親力!～今 札幌から始まるこれからのPTA～』の大会スローガンのもと、第63回日本PTA全国研究大会が8月21日・22日2日間、北海道札幌市で開催されました。全国から8千人のPTA関係者が集り、山梨県PTA協議会からも代表団10名が参加しました。

1日目は10分科会に分かれ、各テーマで基調講演と実践発表等が行われ、私は「家庭教育」の分科会に参加しました。円山動物園園長の田中俊成様の基調講演をはじめ、PTA活動の実践発表、そしてパネルディスカッションを行い、子育てに関する家庭教育の役割を再確認しました。その日の夜は、当協議会で“つながろう”を合言葉に郡市・単位PTAの活動などについて意見交換会を行い会員相互の結びつきを強め資質向上を図りました。

2日目は、総合体育センターでの全体会。開会式後、脚本家の倉本聰氏による記念講演が行われました。その中で“富良野塾起草文”が心に残っています。＜あなたは文明に麻痺していませんか、車と足どっちが大事ですか、石油と水、知識と知恵、批判と創造、理屈と行動、＞確かに前者の言葉ばかりを今の日本は追いかけていると思います。しかし、子どもたちには自然のなかで力強く生きていくために後者の知恵、行動、創造…を大事にしてほしいと感じました。

この大会を通して学んだことを今後のPTA活動や家庭教育・社会教育に生かしていきたいと思えます。

望月 壮(南部町・睦合小P)



特集

子どもとともに親も成長しよう! パートII

それぞれの立場の人が「学校に対応してほしい」と要望していることは、本当に学校で対応する必要があること?それとも家庭や地域で対応すること?どちらでしょう?みなさんは、どう思われますか?

【母親】息子の箸の持ち方が悪いので給食の時指導していただけますか。



食育(家庭訪問時)

【祖父】羨まで学校に任せるとか。そんな風にお前を育てた覚えがないのう。

【地域の方】早朝ウォーキングをしている大人に挨拶しても知らんぷりなのに、中学生は自分たちから大きな声で「こんにちは」と挨拶してくれるよ!

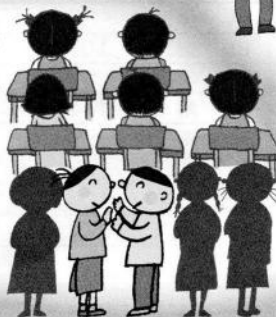
あいさつ

【教師】生徒会中心の挨拶運動が、地域でも実践できてうれしいです。

【母親】授業参観に来ている保護者がしゃべっていてうるさいときがあるね。

学校生活(授業参観)

【父親】それは、親としての立場をわきまえるべきだね。



【学校側】多くの人に子どもたちの頑張りを見てほしいので、公平に地区割りしているが、細かいところは限界がある。

学校生活(運動会の観覧席)



【保護者A】我が子をビデオに収めたいので、できるだけ前の方に席を取りたい。

【保護者B】みんな同じ思いだから、今年も席取り合戦だ!

【学校側】トラブルにならないほしいけど…。

指導

～児童館に迎えに行った祖父が、孫の友達がソファーで飛び跳ねて遊んでいるのを見て～

【祖父】「僕、危ないから、やめようね。」と指導したら、

【母親】「大丈夫です。うちの子は保険に入っていますから。」

【担任】君は、気に入らないと、友達を殴ったり、物を投げつけたら……。

喧嘩



【児童】だって、家で、お父さんとお母さんもそうするよ!!

【父親】先生方の一日の平均勤務時間が12時間50分を超えそうだよ。



多忙化

【母親】それ以上の方もいるってことよね。身体を壊さなければいいけど。

【母親】うちの子、スマホの使い方が悪くて困ってるんですけど、学校で指導してもらえないかしらねえ。

スマホや携帯の監督責任は誰?

【祖母】そりゃ、与えているあんたが責任をもって指導すべきでしょ。



訴え(誕生日会)

～子ども同士の誕生日会について保護者から学校に訴えがあった。～

【A親】誕生日会をやめさせてほしい。(うちの子は呼ばれなかった。)

【B親】プレゼントを統一してほしい。学校で決めてほしい。

【C親】お誕生日会でのメニューを学校で統一してほしい。(例・カレーならカレーと。)



各都市Pからの活動報告(14地区中7地区)

甲府地区 石原初江(玉諸小P)

甲府市小中学校PTA連合会の27年度のスローガンは「つながる」です。「家庭・学校・地域」の中での人と人のつながりを今一度考えなおしてみんなで子どもたちの事を考え実践していく活動をしていきます。10月10日には総合市民会館で長谷川幸介、外岡仁先生をお招きして子ども達の未来を拓くために今何が出来るかを考え取り組んでゆけば良いかということを学ぶ研修会を予定しています。

南アルプス地区 前田友也(豊小P)

市連合PTAは市内22の小中学校PTAで構成されています。各単位PTAの連携を図り、市の教育文化の向上と子どもたちの健全育成を目的に活動しています。これらの目的を達成するため、毎年学習会を開催しています。今年度は、昨年6月に登録された南アルプスユネスコエコパークについて、南アルプスの貴重な自然環境の保全と、魅力ある地域づくりに対して、取組の様子や南アルプス市の素晴らしい自然環境を再認識するため、10月16日に学習会を開催します。

南都留地区 山本美正(東桂中P)

南都留地区PTA連絡協議会は、44校の集合体です。保護者と教職員、また教育四者と深く連携し、教育に関する様々な取り組みを行っています。教育推進連絡協議会や義務振興会議などがありますが、特に教育フォーラムは200団体300名以上が集まり、実践活動報告の発表を基に研究討議を行う一大イベントです。義務教育は人間形成において重要な役割を担っているため、皆様の更なるご理解ご協力を戴けますようお願い申し上げます。



大月地区 小林且宣(初狩小P)

市PTA連合会は、学校統廃合が進み現在市内小学校7校、中学校3校で組織されています。さらに来年4月には小学校5校、中学校2校と減少し、学区の広域化によりさまざまな対応を行わなければなりません。このような「教育環境を見つめ、未来を切り拓くPTA活動を推進しよう」を目標に、組織運営の改善や、子供たちの育つ環境を整えるために家庭、地域、学校の連携強化、子供を理解し、よい教育のあり方を求めて、ともに学びあうPTA活動に取り組んでいます。



甲州地区 山下政仁(塩山南小P)

甲州市小中学校PTA連絡協議会は、「豊かな心をもつ子どもを育てよう」を統一テーマに、市内小学校13、中学校5の単位PTAで組織する「オール甲州市」で児童を見守る活動に取り組んでいます。特に重要視していることは、各単位PTA相互の情報交換を図ることです。そのためには、各種学習会や集会などを積極的に開催し、各単位PTAが一丸となる「オール甲州市」として、児童を見守る活動を推進します。



山梨地区 鶴田一路(八幡小P)

市PTA連絡協議会は、14の小中学校単位PTAが協力して相互の教養を高め、市の教育振興を図ることを目的に活動しています。会員に身近に感じてもらえる市P連をめざした活動を考えています。11月には、子どもたちの教育環境の整備、充実のため、他の教育関連団体と連携して義務教育振興会議を開催します。また、携帯電話やスマホ等の情報モラルについて学ぶ予定になっています。3月には「市P連だより」を発行し、1年間の活動の周知を図ります。



峡南地区 望月 壮(睦合小P)

当協議会は、34校の小中学校単位PTAが相互の教養を高め、教育関係諸機関・諸団体との連携を図りながら活動しています。少子化・学校規模の縮小が進む中、「アフリカ飢餓救援活動」、「富士川流域クリーン活動」など、歴史ある活動を継続しております。また、町ごとに「教育を語る会」の開催や、地区全体で「異校種連携セミナー」や「教育フォーラム」などへ協力し、子どもたちの健やかな成長のために、家庭・学校・地域が一体となったPTA活動を進めています。

親子安全会・扶助会だより



山梨県PTA親子安全会
山梨県PTA扶助会
会長 進邦 徹夫

山梨県PTA親子安全会・扶助会の事業は、山梨県PTA協議会の事業のひとつです。大切な子どもたちとPTA会員みなさまの、不慮の事故に対する見舞金および厚生援助金の給付を主たる目的として事業が進められています。また、健康安全教育の向上や福祉の増進に資するPTA活動への助成も行っています。

給付申請の詳細については、各学校より配布されております「親子安全会見舞金制度の手引き」をご参照ください

(県PTA協議会ウェブサイトからもご覧いただけます)。
本紙では、平成26年度に発生した事故や怪我等の状況別の件数を掲載しています。昨年度は1,724件の申請があり、総額25,612,740円の見舞金と、7,100,000円の厚生援助金の支払いを行いました。

本事業の健全な運営を図るために、審査運営委員会・認定委員会を年間9回行い、各郡市代表の校長先生をはじめとした16名の認定委員と医師1名、事務局2名で公平・公正で迅速な給付の徹底を図るべく努めております。

会員のみなさまにおかれましては、本事業への変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。これを期に、健康や安全について、あらためてご家族でお話してみたいかがでしようか。

平成26年度親子安全会報告

申請原因別件数

(全1,724件中上位10項目)

けがの原因	件数
1 球技による事故	435
2 遊んでいる事故	374
3 転倒による事故	182
4 自転車による事故	173
5 その他	149
6 交通事故	83
7 病気死亡	65
8 遊具による事故	50
9 格技による事故	45
10 ドア、ガラス等による事故	42
10項目合計	1,598

申請種類別件数

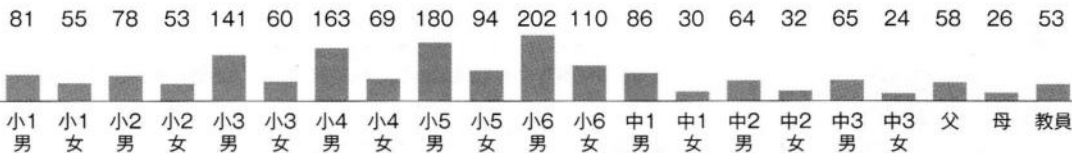
(全1,724件中上位10項目)

けがの類別	件数
1 骨折	775
2 捻挫	263
3 挫創	164
4 打撲	99
5 病気死亡	65
6 損傷	61
7 挫傷	59
8 その他	58
9 切創	50
10 外傷	26
10項目合計	1,620

郡市別申請件数・見舞金額

郡市	件数	金額
甲府	290	4,871,232
中巨摩	426	6,395,696
甲州	89	998,206
山梨	107	1,223,856
笛吹	97	1,466,512
峡南	141	1,611,100
斐崎	79	1,300,340
北杜	93	1,357,906
吉田	106	2,014,520
都留	77	903,290
南都留	138	2,165,746
大月	31	597,150
北都留	50	707,186
合計	1,724	25,612,740

学年別・性別申請件数



扶助会報告

平成26年度は71名の保護者の方が亡くなられ、扶助会から総額7,100,000円が支払われました。

山梨県教育四者教育相談員連絡会

相談会場等案内 ■相談時間 午後1時30分～5時 ※相談は無料です

地区	会場	住所	TEL	相談曜日	相談員
東山梨	東山梨教育会館	甲州市塩山千野3421	0553-33-2635	随時対応	依田 一秀
笛吹	笛吹市教育会館	笛吹市八代町南438-2	055-265-2117	随時対応	角田 修
峡南	峡南教育会館	南巨摩郡富士川町鯉沢795-4	0556-22-1500	随時対応	尾崎 源武
中巨摩	中巨摩教育会館	南アルプス市西野1294	055-282-5070	随時対応	渡邊 正義
北巨摩	北巨摩教育会館	北巨摩市若宮2-6-26	0551-22-0540	随時対応	仲田 俊朗
南都留	南都留教育会館	富士吉田市下吉田886	0555-23-6151	随時対応	奥脇 義徳
北都留	北都留教育会館	大月市大月2-8-29	0554-22-1811	随時対応	小泉 克行
全県	山梨県教育会館	甲府市丸の内3-33-7	055-228-1342	随時対応	佐野 貴宣 武井 文雄

平成26年度 教育相談の状況

教育四団体は、山梨県PTAが事務局となり教育相談室を開設しています。退職教員が県教育委員会から任命されています。子育てに関わる悩みや心配事等気軽にご相談ください。

相談者数内訳

①相談対象件数 ※()は電話相談 内数

小学生	中学生	幼児	高校生	一般	合計
24(9)	30(17)	0(0)	0(0)	0(0)	54(26)

②延べ相談者数 ※()は電話相談 内数

本人	父親	母親	祖父母	教師	養護教諭	その他	合計
3(0)	7(1)	42(20)	7(5)	4(3)	0(0)	0	63(29)

編集後記

山梨県PTA協議会の情報紙発行にあたり、多くの皆様方に、県P情報「やまなし」を読んでいただき、県PTAの活動や行事などを少しでも理解していただければ幸いです。

今後とも、県Pの情報を発信していきたいと思っております。124号の発行にあたり情報委員の皆様のご協力をいただきまして発行することができましたことを感謝いたします。
情報委員長 佐野 誠